

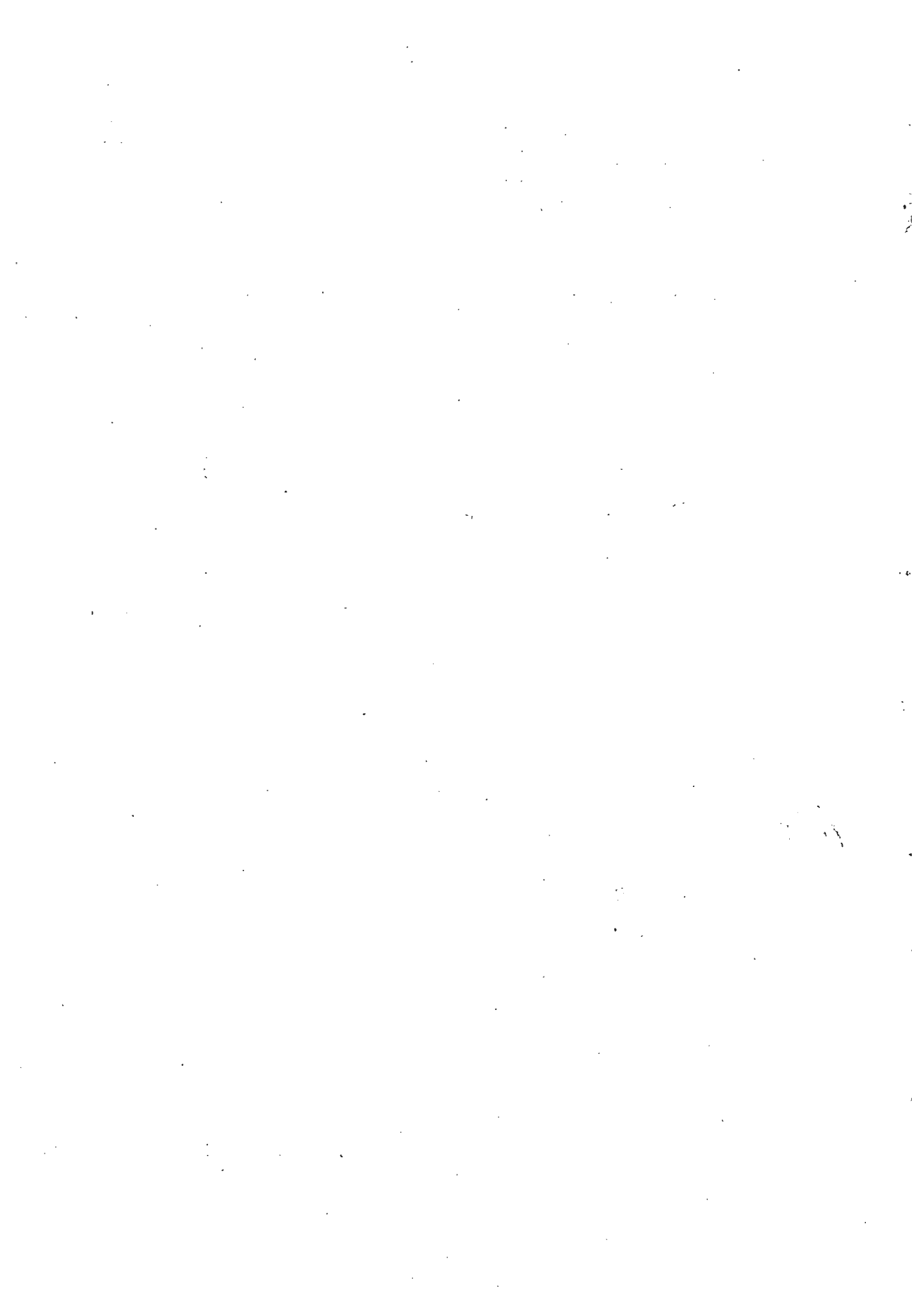
緒 言

福井縣統計書ハ縣下行政其ノ他各般ノ統計ヲ蒐集シ既往現在ノ狀勢ヲ大觀セムカ爲毎年之ヲ刊行シ今ヤ昭和六年ノ統計書ヲ編纂スルニ至レリ本書編ヲ分ツニ其ノ一ヲ「土地戸口等」其ノ二ヲ「學事」其ノ三ヲ「産業」其ノ四ヲ「警察衛生等」ト爲ス。

各編收録スル資料ハ主トシテ市町村及學校ノ報告並廳内ノ調査ニ依リ或ハ關係官公署會社等ノ供給ニ求メタルモノアリ蓋シ世運ノ推移學術ノ進展ニ基キ統計ノ用益多キヲ加フ是ヲ以テ調査ノ正確ヲ期スルト共ニ表章方法ヲ更メ或ハ新ニ收録シタルモノ尠シトセス然リト雖尙遺憾ナキヲ保セサルニ依リ漸次之カ改善ニ努メ時世ノ要求ニ應セシムル所アラムトス

昭和八年三月

福井縣知事官房



昭和六年 福井縣統計書目次

第三編 產 業

總 說.....	1	34 國有林植栽.....	42
第 一 生産物總價額		35 國有林伐採.....	42
1 生産總價額.....	5	36 國有林野被害.....	42
第 二 農 業		37 保安林.....	43
2 耕地面積.....	5	38 公私有造林用苗木.....	44
3 耕地整理ノ一.....	6	39 公私有林野人工造林(新植).....	44
4 耕地整理ノ二.....	7	40 公私有林野人工造林(補植).....	48
5 農産物總價額.....	8	41 竹林植栽.....	49
6 米.....	8	42 公私有林野天然造林.....	50
7 米收穫高前年及平年比較.....	10	43 公私有林伐採面積.....	52
8 移出米検査.....	10	44 公私有林伐採採材積.....	52
9 麥.....	11	45 林野産物.....	56
10 食用農産物.....	12	46 木 炭.....	58
11 園藝農産物ノ一(果實).....	14	47 公私有林野被害.....	58
12 園藝農産物ノ二(蔬菜及花卉).....	16	第 五 水 産	
13 工藝農産物.....	18	48 水産總價額.....	59
14 綠肥用作物.....	20	49 水産業者.....	60
15 果樹苗.....	22	50 漁 船.....	62
16 茶 畑.....	23	51 遊漁漁船.....	64
17 桑 畑.....	23	52 沿岸漁獲物.....	64
18 桑 苗.....	24	53 遠洋漁業.....	68
19 繭.....	25	54 水産養殖.....	68
20 春 蠶.....	26	55 水産製造物.....	70
21 夏秋蠶.....	26	第 六 鑛 業	
第 三 畜 産		56 鑛産總價額.....	73
22 畜産總價額.....	28	57 鑛區及坪數.....	73
23 牛.....	28	58 石材土石及鑛水.....	75
24 馬.....	30	第 七 工 業	
25 豚.....	34	59 工産物總價額.....	76
26 緬 羊.....	34	60 工場數及職工數.....	76
27 山 羊.....	34	61 織 物.....	77
28 鷄.....	36	62 綿織物.....	82
29 鶩.....	36	63 絹織物及絹綿交織物.....	86
30 牛 乳.....	37	64 麻織物及麻交織物.....	90
31 屠 殺.....	37	65 毛織物及毛交織物.....	93
第 四 林 業		66 メリヤス製品.....	94
32 林産總價額.....	38	67 晒及染物.....	94
33 民有林野面積.....	39	68 帽 子.....	96

69	陶磁器	97
70	瓦及土管	98
71	漆 器	98
72	製 革	98
73	皮革製品	99
74	植物油	99
75	澱 粉	99
76	木製品	100
77	竹製品	100
78	藤製品	101
79	柶柳製品	101
80	刷子及刷毛	101
81	疊表莫崖及花筵	102
82	製 茶	102
83	蠶絲類ノ一(總數)	104
84	蠶絲類ノ二(機械絲)	106
85	蠶絲類ノ三(座線絲)	108
86	蠶絲類ノ四(玉絲)	110
87	真 綿	110
88	蠶 綢	111
89	菓製品	112
90	乳肉製品及罐詰	113
91	醸造物	114
92	飲食物雜類	116
93	織物用具	118
94	窯業製品	122
95	紙 類	122
96	工產物雜類	126
97	製造肥料	130

第 八 商業會社銀行等

98	敦賀港外國貿易種類別	132
99	敦賀港外國貿易國別	132
100	港灣移出入貨物	134
101	商品陳列所(其ノ一)	135
102	商品陳列所(其ノ二)	135
103	會社總數	136
104	會社資本金別	136
105	會社業態別	137
106	勸業銀行預金	139
107	勸業銀行預金預ケ主別	140
108	勸業銀行貸付金	140
109	勸業銀行貸付金年限別	140
110	勸業銀行貸付金借主別	141
111	無盡業者及資本金	141
112	無盡口數及給付契約高	142
113	無盡契約高給付金額別	142
114	無盡契約高職業別	142
115	無盡契約高期間別	144
116	無盡口數及給付契約高(郡市別)	144
117	普通銀行資本金積立金入金出金純益金配當金	144
118	普通銀行貸付金	145
119	普通銀行諸貸付金擔保別調	146
120	普通銀行預金	146
121	普通銀行內國爲替	148
122	貯蓄銀行	148
123	貯蓄銀行預金	149
124	産業組合	148
125	郵便貯金	150

總 說

農 業

耕地面積 昭和六年末ニ於ケル耕地總面積ハ六萬二千二百八十一町八段歩、内田五萬六千七百七十八町一段歩、畑一萬千六百三十七段歩ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ、田ニ於テ七十町一段歩ヲ減少セルモ、畑ニ於テ八百七十四町段歩ヲ増加セルヲ以テ、總面積ニ於テ七百三十七町三段歩ノ増加ト爲レリ。而シテ畑ノ増加ハ、宅地ノ地目變換ヲ主ナルモノトス。本年内ニ於ケル移動ノ狀況ハ、擴張ニ在リテハ九百六十八町二段歩、内田八十一町二段歩畑八百八十七町歩ニシテ、潰廢ニ在リテハ二百三十町九段歩、内田百五十六町三段歩、畑七十四町六段歩ナリ。故ニ前記ノ如ク差引七百三十七町三段歩ノ増加ヲ見タリ。更ニ擴張及潰廢面積ヲ種類別ニ觀レバ、宅地ヲ耕地ト爲セルモノ八百六十二町歩ヲ擴張ノ主ナルモノトス。此ノ外開墾、埋立及荒地ヲ復舊セルモノ百六町二段歩アリ。又潰廢ノ主ナルモノ、地目變換ニ因ルモノ百八十二町七段歩ニシテ此ノ外宅地及道路等ト爲レルモノ四十三町四段歩、荒地ト爲レルモノ四町八段歩アリ。

米 昭和六年ニ於ケル米ノ總作付段別ハ四萬九千四百三十六町九段歩、内水稻四萬九千四百三十四町三段歩、陸稻二町六段歩ニシテ、前年ニ比シテ七十三町九段歩内水稻六十四町六段歩陸稻九町三段歩ノ減少ヲ見タルハ、道路、河川敷地及宅地等ニ變換セルニ由ル。而シテ之ヲ種類別ニ觀レバ、粳米四萬五千六百三十七町五段歩、糯米三千七百九十九町四段歩ナリ。總收穫高ハ九十二萬三千八百八十八石、内水稻九十二萬三千八百五十九石、陸稻二十九石ニシテ、前年ニ比シ一萬千六百四十二石内水稻一萬五千七百七十七石ヲ減收セリ。蓋シ本年ノ稻作ハ、苗代期間中低溫ノ爲生育甚ダ遅延シ移植モ三、四日間遅レタルモ、其ノ後六月下旬ニ至ル天候ハ稍順調ナリシ爲生育モ良好ナリシニ、七月以降ハ降雨量多ク氣溫低下ノ爲早中晩稻ヲ通シ、發育ヲ阻害セラレタルノミナラズ、二化螟蟲及黑條象ノ發生並稻熱病ノ爲、被害比較的多カリシニ由リ、前記ノ如キ減收ヲ見タリ。

尙收穫高ヲ種類別ニ觀レバ、粳米八十五萬八千二百八十八石糯米六萬五千六百石ナリ。

麥 昭和六年ニ於ケル麥總作付段別ハ三千二百四十四町八段歩内田千二百八十八町一段歩、畑千九百五十六町七段歩ニシテ前年ニ比シ二十一町九段歩ヲ減少セルハ、耕地整理ノ結果ト收益少ナキ爲作付ヲ手控ヘタルトニ由ルモ、逐年減少シツツアリ。總收穫高ハ三萬九千五百九十九石ニシテ、前年ニ比シ千十一石ヲ減收セリ。之播種當時ヨリ三月下旬迄ノ天候ハ、稍順調ニ進ミタルヲ以テ生育ヲ促シタルモ、四月初旬ヨリ五月中旬ニ至ル間降雪又ハ曇雨天多カリシ爲、一般ニ生育ヲ阻害セラレタルニ由ル。作付段別及收穫高ヲ種類別ニ觀レバ次ノ如シ。

	作付段別 町	收穫高 石
大 麥	2,623.0	33,102
稈 麥	82.7	1,113
小 麥	539.1	4,844

食用農産物 昭和六年ニ於ケル食用農産物ハ、總作付段別六千六百十三町七段歩ニシテ、前年ニ比シ四十町二段歩ヲ減少セルモ、之ニ屬スル品種九種中大豆、稗、黍、玉蜀黍、甘藷、馬鈴薯ノ六種ハ僅少ナガラ増加セリ。

而シテ總生産額ハ八十八萬四千四百六十二圓ニシテ、前年ニ比シ八萬九千三百三十七圓ヲ減少セリ。此ハ經濟界ノ不況ニ依リ、價格ノ低下セルニ由ル。

産額五萬圓以上ノモノニ付其ノ作付段別、收穫高及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

	作付段別 町	收穫高 石	價 額 圓
大 豆	2,635.8	27,706	313,536
馬 鈴 薯	796.5	2,222,382	210,865
甘 藷	956.5	2,344,726	174,223
小 豆	741.0	5,797	83,552
蕎 麥	874.3	7,262	54,696

果實 昭和六年ニ於ケル果實ハ總價額三十九萬五千四百七十六圓ニシテ、前年ニ比シ十一萬二千六百七十七圓ヲ減少セリ。之主トシテ梅ノ二萬千圓、枇杷ノ六千圓、日本梨ノ九千圓、生柿ノ四萬五千圓、干柿ノ六千圓、葡萄ノ二千圓等何レモ減收ヲ見タルニ由ル。

果實ノ主ナルモノニ付其ノ收穫高及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

	收穫高 石	價 額 圓
生 柿	959,954	131,843
梅	4,108	72,004
干 柿	84,313	63,874
桃	317,342	46,441
日 本 梨	121,963	34,966

蔬菜及花卉 昭和六年ニ於ケル蔬菜及花卉ハ、總作付段別三千二百六十四町六段歩ニシテ、前年ニ比シ九十四町五段歩ヲ増加シ逐年漸増ノ趨勢ナリ。而シテ總生産額ハ百二十八萬七千六百九十八圓ニシテ、前年ニ比シ十二萬七千五百四十一圓ヲ減少セルハ、一般ニ價格ノ低下セルニ由ル。

蔬菜ノ主ナルモノニ付作付段別、收穫高及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

	作付段別 町	收穫高 石	價 額 圓
生 大 根	992.7	7,121,347	343,475
里 芋	443.7	1,707,842	213,517
茄 子	282.4	1,398,118	153,610
西 瓜	155.1	563,418	92,548
胡 瓜	136.1	528,516	71,147
午 莧	101.3	314,782	68,790
葱	112.9	234,634	61,716

工業農産物 昭和六年ニ於ケル工業農産物ハ、總作付段別千三

百三十町二段歩ニシテ、前年ニ比シ二十九町二段歩ヲ増加セリ。而シテ總生産額ハ二十二萬九千八百八十三圓ニシテ、前年ニ比シ二萬二千四百五十圓ヲ減少セルハ、一般ニ價格ノ低下セルニ由ル。

工藝農産物中主ナルモノニ付作付段別、收穫高及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

	作付段別 町	收穫高 石	價 額 円
菜 種	772.2	8,122	84,176
大 麻	130.0	38,905	42,237
三 椏	151.3	41,933	27,853
杞 柳	35.7	40,942	24,024
楮	112.3	42,345	18,154
關	23.2	51,964	15,624

養蠶 昭和六年ニ於ケル養蠶實戸數ハ一萬七千五百二十二戸ニシテ、前年ニ比シ二千三百八十三戸ヲ増加セリ。之ヲ春蠶及夏秋蠶別ニ觀レバ、春蠶養蠶戸數ハ一萬五千八百三十八戸ニシテ、前年ニ比シ千六百二十四戸、夏秋蠶養蠶戸數ハ一萬三千八百八十戸ニシテ、前年ニ比シ二千八百四十一戸ヲ何レモ減少セリ。此ハ繭價安ノ爲飼育ヲ手控ヘタルニ由ル。

蠶種掃立數量ハ六十六萬八千八百八十二グラム、内白繭種六十一萬五千五百七十五グラム、黃繭種五萬三千七百七グラムニシテ、前年ニ比シ總數五萬四千三百四十グラムヲ減少セリ。之ヲ春蠶及夏秋蠶別ニ觀レバ、春蠶ニ在リテハ三十七萬三千二百二十四グラム、内白繭種三十二萬三千六百六十八グラム、黃繭種四萬九千五百五十六グラムニシテ、前年ニ比シ百二十六グラムヲ増加セリ。又夏秋蠶ニ在リテハ二十八萬八千六百五十八グラム、内白繭種二十八萬七千九百七グラム、黃繭種七百五十一グラムニシテ、前年ニ比シ五萬四千二百十四グラムヲ減少セリ。

總收繭量ハ三十八萬九千六百二十七貫、内白繭種三十五萬四千三百二十四貫、黃繭種三萬五千三百三貫ニシテ、前年ニ比シ九萬三千八百十七貫ノ減收ヲ見タリ。之ヲ春蠶及夏秋蠶別ニ觀レバ、春蠶ニ在リテハ二十三萬五千八百八十二貫、内白繭種二十萬二千二百三十四貫、黃繭種三萬四千六百四十八貫ニシテ、前年ニ比シ四萬九千二百二十五貫ヲ減收セリ。又夏秋蠶ニ在リテハ十五萬三千七百四十五貫、内白繭種十五貫三千九十貫、黃繭種六百五十五貫ニシテ、前年ニ比シ四萬四千六百九十二貫ヲ減收セリ。

以上ノ如ク前年夏秋蠶以來繭價下落セル爲繭價維持ノ對策トシテ、本年ノ夏秋蠶ニ對シ三割減ノ掃立ヲ慾望セルガ如キ狀況ナリシヲ以テ、春夏秋蠶トモ掃立ノ見合せ又ハ手控ヘテ爲シタリ。

而シテ繭價總額ハ百五萬八千八百二十五圓ニシテ、前年ニ比シ四十四萬八千八百圓ノ減少ヲ見ルニ至レリ。

畜 産

牛 昭和六年末ニ於ケル飼養總戸數ハ三千六百九十三戸、内一頭飼養ノモノノ三千五百三十五戸、二頭飼養ノモノノ四十八戸、三頭又ハ四頭飼養ノモノノ三十六戸、五頭以上飼養ノモノノ七十

四戸ニシテ、前年ニ比シ六十四戸ヲ減少セリ。

而シテ之ガ飼養總頭數ハ四千五百四十四頭、内牝三千九百六頭、牡六百三十八頭ニシテ、前年ニ比シ二百八十一頭ヲ増加セリ。之ヲ年齡別ニ觀レバ滿二年以上ノモノノ三千八百二頭、内牝三千四百一十一頭、牡三百九十一頭、滿一年以上滿二年未滿ノモノノ四百十二頭、内牝二百九十六頭、牡百十六頭、滿一年未滿ノモノノ三百三十頭、内牝百九十九頭、牡百三十一頭ナリ。

尙本年内ニ於ケル動態ヲ觀レバ、生産ニ在リテハ總數三百二十二頭、内牝二百十七頭、牡百五頭ニシテ、前年ニ比シ十六頭ヲ減少セリ。又斃死ニ在リテハ總數四十七頭、牝三十七頭、牡十頭ニシテ、前年ニ比シ五頭ヲ増加セリ。

馬 昭和六年末ニ於ケル飼養總戸數ニ五千九十五戸、内一頭飼養ノモノノ四千九百一十一戸、二頭飼養ノモノノ百十四戸、三頭又ハ四頭飼養ノモノノ四十六戸、五頭以上飼養ノモノノ二十四戸ニシテ、前年ニ比シ百七十三戸ヲ減少セリ。

而シテ之ガ飼養頭數ハ五千五百二頭、内牝二千九百四十五頭、牡二千五百五十七頭ニシテ、前年ニ比シ二百七十七頭ヲ減少セリ。之ヲ年齡別ニ觀レバ、明四歳以上ノモノノ四千八百八十九頭、内牝二千七百十五頭、牡二千七百七十四頭、明三歳ノモノノ四百五十五頭、内牝百四十四頭、牡三百一十一頭、明二歳ノモノノ百三十四頭、内牝七十六頭、牡五十八頭、當歳ノモノノ二十四頭、内牝十頭、牡十四頭ナリ。

尙本年内ニ於ケル動態ヲ觀レバ、生産ニ在リテハ、總數五十三頭、内牝二十頭、牡三十三頭ニシテ、前年ニ比シ十一頭ヲ増加セリ。又斃死ニ在リテハ五十五頭、内牝二十七頭、牡二十八頭ニシテ、前年ニ比シ三十八頭ヲ減少セリ。

鶏 昭和六年六月末日現在ニ飼養總戸數ハ七千十四戸、内十羽未滿飼養ノモノノ四千五百七十六戸、十羽以上五十羽未滿飼養ノモノノ千七百五十戸、五十羽以上飼養ノモノノ六百八十八戸ニシテ、前年ニ比シ百五十七戸ヲ減少セルモ、五十羽以上飼養ノモノノ百九十九戸ノ増加ヲ見タリ。

而シテ之ガ飼養羽數ハ二十五萬九千九百六十八羽、内成鶏十四萬五千四十三羽、雛十萬五千九百二十五羽ニシテ、前年ニ比シ三萬九千二百七十五羽ヲ増加セリ。

尙成鶏ヲ性別ニ觀レバ、雌十三萬三千六百二十羽、雄一萬四千四百二十三羽ニシテ、前年ニ比シ雌一萬七千七羽、雄五十四羽ヲ何レモ増加セリ。

林 業

林野面積 昭和五年末現在ニ於ケル、毎三年定期調査ニ依ル林野面積ハ、十七萬七千八百九十三町二段歩ニシテ、前回調査部昭和六年末ニ比シ、六千七百六十三町歩ヲ増加シ、本縣ノ總面積ノ約四割強ヲ占ム。内立木地面積ハ十六萬四千八百三十二町二段歩、無立木地面積ハ一萬三千六十一町一段歩ニシテ、前回調査ニ比シ立木地ハ九千二百八十八町八段歩ヲ増加シ、無立木地ハ二千四百四十五町八段歩ヲ減少セリ。

之ヲ樹林別ニ觀レバ針葉樹林三萬二千八百二十町二段歩、闊葉樹林八萬二千九百九町四段歩、針闊混淆樹林四萬八千四百九

十八町四段歩、竹林千四百四町二段歩ノ割合ナリ。
尙之ヲ所有者別ニ觀レバ、私有最モ多ク、十四萬七千十五町九段歩ニシテ、町村有一萬八千九百七十三町七段歩之ニ亞ギ部落有五千六百四十町三段歩、縣有二千七百九町五段歩、寺院有二千四十六町三段歩、神社有千四百十九町二段歩、其ノ他八十八町四段歩ノ割合ナリ。

森林植栽 昭和六年ニ於ケル森林新植ハ、總面積千二十五町八段歩、内針葉樹九百十六町一段歩、闊葉樹百九町七段歩、總樹數二百五十二萬千六百八十五本、内針葉樹二百二十五萬四千九百七十五本、闊葉樹二十六萬六千七百十本ニシテ、前年ニ比シ總面積三十町二段歩、總樹數十九萬八千六百七十本ヲ何レモ減少セリ。

而シテ之ヲ所有者別ニ觀レバ、公有ニ在リテハ面積百七十三町五段歩、樹數四十八萬七千九百二十本ニシテ、前年ニ比シ面積六十三町一段歩、樹數十四萬二千二百三十本ヲ減ツ、社寺有ニ在リテハ面積十一町八段歩、樹數三萬五千本ニシテ、前年ニ比シ六町二段歩、二萬二百五十本ノ増加ヲ見タリ。又私有ニ在リテハ、面積八百四十町五段歩、樹數百九十九萬八千七百六十五本ニシテ、前年ニ比シ面積二十六町七段歩ヲ増シタルニ、樹數ハ反ツテ七萬六千七百九十本ヲ減少セリ。尙新植ノ主ナル樹種ニ付其ノ面積及樹數ヲ掲ケレバ次ノ如シ

	面積 町	樹數 本
スギ	787.9	1,935,030
ヒノキ	73.5	185,005
マツ	52.2	127,940
クヌギ	47.0	159,850
ケヤキ	25.4	39,390
クリ	16.3	20,070

森林伐採 昭和六年ニ於ケル森林伐採總面積ハ二千八百四十四町一段歩、内用材三百九十四町七段歩、薪炭材千七百七町六段歩、竹材八十一町八段歩ニシテ、前年ニ比シ二十五町四段歩ヲ増加セリ。而シテ之ガ材積ハ用材十八萬八千二百七十二石(價額七十八萬六千五百十九圓)、薪炭材十八萬五百二十六捆(價額五十四萬七千六百十三圓)、竹材五萬四千六百二束(價額四萬四千二百二十二圓)ニシテ、前年ニ比シ用材ハ九千二百八十一石ヲ増加セルモ、價額ハ三萬四千四百三十四圓ヲ減シ薪炭材亦一萬五千七百捆ヲ増加セルモ、價額ハ四萬四千三百三十一圓ヲ減少セリ。又竹材ハ一萬七千六百六十三束、價額千五百三十四圓ヲ何レモ増加セリ。

尙用材ノ主ナル樹種ニ付其ノ材積及價額ヲ掲ケレバ次ノ如シ

	材積 石	價額 円
スギ	102,459	429,641
マツ	55,020	202,591
ケヤキ	6,843	66,165
クリ	6,500	36,662
ク	5,436	21,140

林野産物 昭和六年ニ於ケル林野産物總價額(木炭ヲ除ク)ハ二十萬五千三百七十二圓、内造林用種子八百十圓、樹實八萬四百八十五圓、樹皮二萬五千四百二十四圓、其ノ他九萬八千

六百五十三圓ニシテ、前年ニ比シ四萬五千七百四圓ヲ減少セリ。而シテ其ノ他ノ中主ナルモノヲ掲ケレバ次ノ如シ。

	價額
柴草	39,311円
松茸	24,856
筍	22,945
山葵	2,045

木炭 昭和六年ニ於ケル木炭生産額ハ、數量九百七十六萬八千五百四十四貫(價額百二十六萬千七百七十四圓)、内白炭百二十一萬八千七百九十三貫(價額十七萬二千二百十三圓)、黒炭八百五十四萬九千七百五十一貫(價額百八萬九千九百六十一圓)ニシテ、前年ニ比シ數量八十四萬八千八百十貫ヲ増加シタルモ、價額ハ四千八百四十八圓ノ減少ヲ見タリ。

水 産

水産業者 昭和六年末ニ於ケル水産業者ハ總數一萬五千二百人(男一萬千三百七十九人、女三千八百二十一人)、内業主七千五百五十五人(男六千九百九人、女六百四十六人)、被用者七千六百四十五人(四千四百七十人、女三千七百七十五人)ニシテ、前年ニ比シ總數五百十人(業主六十三人、被用者四百四十七人)ヲ減少セリ。

而シテ之ヲ業種別ニ觀レバ、漁撈業ニ在リテハ業主六千八百十八人(男六千四百二十八人、女三百九十人)、被用者六千七百四十六人(男四千四百十九人、女二千六百二十七人)ニシテ、前年ニ比シ業主八十三人、被用者百二十九人ヲ何レモ減少セリ。

養殖業ニ在リテハ業主八十八人(男ノミ)、被用者十九人(男十四人、女五人)ニシテ、前年ニ比シ業主二十六人、被用者三人ヲ何レモ増加セリ。

又製造業ニ在リテハ、業主六百四十九人(男三百九十三人、女二百五十六人)、被用者八百八十人(男三百三十七人、女五百四十六人)ニシテ、前年ニ比シ業主六人、被用者三百二十人ヲ何レモ減少セリ。

尙總數ヲ本業者及副業者別ニ觀レバ、本業者ハ九千百十三人、内業主ハ三千二百四十一人(男三千百十人、女百三十一人)、被用者五千八百七十二人(男三千五百四十七人、女二千三百二十五人)ニシテ、前年ニ比シ業主二十一人ヲ減シタルモ、被用者ハ百人ノ増加ヲ見タリ。又副業者ハ六千八十七人、内業主四千三百十四人(男三千七百九十九人、女五百五十五人)、被用者千七百七十三人(男九百二十三人、女八百五十五人)ニシテ、前年ニ比シ業主四十七人、被用者五百四十七人ヲ何レモ減少セリ。尙之ヲ業種別ニ觀レバ次ノ如シ。

本業	業主	被用者
漁撈業	2,867人	5,312人
養殖業	8	3
製造業	366	557
副業		
漁撈業	3,951	1,434
養殖業	80	16

製造業 283 323

漁船 昭和六年末ニ於ケル漁船總數ハ三千六百八十八隻、内無動力船三千百九十二隻、有動力船四百九十六隻ニシテ、前年ニ比シ總數五十一隻ヲ減少セルハ、無動力船ニ於テ七十三隻ヲ減少、有動力船ニ於テ二十二隻ヲ増加セルニ因ルモ、漁撈方法ノ發達ニ伴ヒ、無動力船ハ逐年減少シ、之ニ反シ有動力船、即所謂發動機漁船ハ益々旺盛トナリ、最近十箇年間ニ約十倍ノ發展ヲ示セリ。

而シテ年内ニ於ケル新造船ハ、總數二百十四隻、内無動力船百六十六隻、有動力船四十八隻ニシテ、前年ニ比シ二十七隻ノ増加ヲ見タルモ、無動力船其ノ大半ヲ占ム。又廢用船ハ二百七十九隻、内無動力船二百五十一隻、有動力船二十八隻ニシテ、前年ニ比シ三十六隻ヲ増加セリ。

尙年末現在船數ヲ噸數別ニ依リ示セバ次ノ如シ。

	無動力船	有動力船
五噸未満	3,177	268
五噸以上十噸未満	8	160
十噸以上二十噸未満	—	60
二十噸以上五十噸未満	—	8

沿岸漁獲物 昭和八年ニ於ケル沿岸漁獲物總價額ハ、百九十三萬五千四百二十八圓ニシテ、前年ニ比シ六十一萬四千五百九十六圓ノ減少ヲ見タリ。之カ數量及價額ヲ種類別ニ示セバ次ノ如シ。

魚 類	數量	價額
魚 類	4,056,560	1,631,404
貝 類	62,759	41,518
其他水産動物	277,420	26,640
藻 類	103,576	35,866

魚類中水揚ノ最も多キハ鱈ノ百五十八萬五千六百五十五貫（價額十四萬七千五百二十二圓）ニシテ、之ニ亞ケテ鱈ノ九十九萬七千五百九貫（價額三十八萬三千三百八十四圓）、鮪ノ二十六萬二千八百三貫（價額十五萬四千三百九十五圓）、鰯ノ二十六萬百五十五貫（價額十三萬四千五百二十二圓）、鰯ノ十萬二千四百八十八貫（價額六萬五千二百七十九圓）、等ヲ主ナルモノトス。

尙價額ノ十萬圓以上ニ達セルモノハ、前記ノ外鯛ノ十四萬二千八百五十六圓（數量四萬五千八十七貫）、鮎ノ十一萬五千六百六十三圓（數量二萬六千六百六十七貫）等ナリ。

貝類中主ナルモノハ、榮螺ノ四萬六千九百五十五貫（價額九千七百二十圓）、鮑ノ一萬二千九百五十九貫（價額三萬百十六圓）ニシテ、其ノ他ノ水産動物ニ在リテハ、烏賊ノ十萬六千八百七十貫（價額八萬九千五百八十五圓）、蟹七萬五千四百四十貫（價額七萬九千五百二十二圓）、蛤ノ四萬三千貫（價額三萬三千九百四十四圓）ヲ、又藻類ニ在リテハ、わかめノ九萬二千八百三十六貫（二萬二千五百八圓）ヲ其ノ主ナルモノトス。

遠洋漁業 昭和六年末現在ニ於テハ、遠洋漁業ニ従事セル漁船ハ八十一隻（發動機漁船）、此ノ總噸數千二百二十一噸、乗組人員六百五十五人ニシテ、前年ニ比シ船數三十三隻、噸數三百八十噸、乗組人員百六十五人ヲ減少セリ。

而シテ之ガ年内ニ於ケル漁獲高ハ、四十七萬五千三百七十六

貫（價額二十九萬三千三十三圓）ニシテ、前年ニ比シ二十一萬七千四百二十五貫（價額十四萬九千八百十三圓）ノ減少ヲ見タリ。其ノ魚類ノ主ナルモノハ、鱈ノ十五萬二千二百七十六貫（價額五萬四百七十七圓）、鰈ノ九萬二千五百五貫（價額九萬五千八百七十二圓）、鯛ノ二萬二千五百貫（價額五萬九千三百二十四圓）等トス。

漁船數及漁獲高ヲ漁撈方法別ニ示セバ次ノ如シ。

	船數	收穫高數量	價額
旋網漁業	4	40,800	12,240
沖曳網漁業	75	434,076	280,673
刺網漁業	2	400	120

水産製造物 昭和六年ニ於ケル水産製造物總價額ハ七十八萬三千五百七十三圓、内食料品七十四圓五千三百六十六圓、肥料三萬六千八百七十三圓、魚油八百八十四圓、澱海苔四百五十圓ニシテ、前年ニ比シ二十五萬六千九百三十四圓ヲ減少セリ。食料品中價額ノ最も多キハ、鹽藏品ノ二十六萬千六百十六圓（數量四十七萬七千四百八十五貫）ニシテ、之ニ亞ケテ蒲鉾、竹輪等ノ雜類品十八萬六百二十二圓（數量十一萬二千八百四十貫）、素乾ノ十一萬七千六百七圓（數量六萬四千七百四十六貫）、糖乾ノ十一萬千八百六十四圓（數量十六萬五千五百五十貫）等ヲ主ナルモノトス。

尙本縣ノ名産タルウニハ其ノ數量二千二百二十五貫、價額三萬九百八十七圓ニシテ、前年ニ比シ數量ニ於テ七十五貫、價額ニ於テ四千七十六圓ヲ何レモ減少セリ。

工 業

機業場數 昭和六年末ニ於ケル機業場總數ハ千四百七十八、内綿織物工場百二十一（八分）、絹及綿織交織物工場千三百四十二（九割）、麻及麻交織物工場十四（一分）、毛及毛交織物工場一ニシテ、前年ニ比シ絹及綿織交織物工場百六十九ヲ増加セルモ、他ノ何レモ減少セリ。之主トシテ人絹絲織物ノ有利ナル爲メ、新ニ開業セルモノ多カリシニ依ルナルベシ。之ヲ機臺ノ多少ニ依リ觀察スレバ、十臺未満ノモノ四百二十九割九分、十臺以上五十臺未満ノモノ八百八十一（六割）、五十臺以上ノモノ百六十八（一分一分）ニシテ、十臺未満ノモノハ漸次減少スルノ趨勢ニ在リ。

機臺數 昭和六年末ニ於ケル機臺數ハ、三萬八千三百四十三臺ニシテ、之カ内課ハ綿織物千八百一十一（四分）、絹及綿織交織物三萬六千六百六十四臺（九割四分）、麻及麻交織物三百四十八（九分）、毛及毛交織物二十臺ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ、絹及綿織交織物ニ於テ四千六百六十一臺、毛及毛交織物ニ於テ十臺ヲ増加シタルモ、他ノ何レモ減少シ總體ニ於テ四千四百八十八臺ヲ増加セリ。

機業職工數 昭和六年末ニ於ケル機業職工數ハ二萬五千八百四十三人、内男四千四百九十一人、（一割七分）、女二萬一千三百五十二人（八割三分）ニシテ、前年ニ比シ男九百五十四人、女千七百八十一人ヲ増加セリ。

織物産額 昭和六年ニ於ケル織物生産額ハ、七千四百四十五萬三千三百二十九圓ニシテ、前年ニ比シ二百三十一萬八千七

五十八圓ヲ減少セリ。之主トシテ一般ニ價額ノ低下セルト、絹織物ノ生産減少シ、人絹織物ノ増加シタルニ依ルモノナリ之ヲ品目別ニ觀レバ、廣巾物五千九百八萬五千三百八圓、小巾物千四百九十九萬四千二百六圓、特殊物百十七萬三千八百十五圓ニシテ、廣巾物ノ總額ノ七割九分ヲ占メ、主トシテ輸出向織物トス。而シテ之ヲ種類別ニ觀レバ、絹織物六千八百七十三萬五千五百三圓(内約七割ハ人絹織物トス)ニシテ首位ヲ占メ、總額ノ九割二分ニ當リ、絹綿交織物二百四十二萬九千九百五十五圓、綿織物二百二十二萬五千七百七十五圓、麻及麻交織物百五萬六千五百八十九圓、毛及毛交織物六千二百七圓ノ順位トス。

又産額ヲ地方別ニ觀察スレバ、福井市千八百五十五萬八千五百五十七圓(二割五分)ヲ最多トシ、坂井郡千二百七十五萬八千六百八十六圓(一割七分)之ニ亞ギ、吉田郡千二百四十七萬八千七百九圓(一割七分)、今立郡千二百九萬二千七百四十九圓(一割六分)、大野郡千四百四十九萬九千四十一圓(一割四分)ヲ主ナルモノトス。

染物 昭和六年末ニ於ケル染物工場ハ百十、職工六百三十二人ニシテ、前年ニ比シ工場ニ於テハヲ減少シタルモ、職工ニ於テ十四人ヲ増加セリ。

而シテ染賃總額ハ二百十八萬六千四百八十八圓ニシテ、前年ニ比シ百二萬九千八百八十八圓ヲ増加セリ。之ハ主トシテ人絹織物ノ染色工業勃興シテ隆盛ナリシニ依ル。尙之ヲ種類別ニ觀ルニ無地物二百七萬七千九百三十九圓(總額ノ九割五分)、捺染物一萬五千八百六十二圓、其ノ他九萬二千六百十七圓ナリ。

製絲 昭和六年ニ於ケル製絲場數ハ四百七十六、繰絲釜數二千四百一釜ニシテ前年ニ比シ場數十八、釜數三百七十二釜ヲ減少セリ。而シテ場數ノ減少ハ、十釜未滿ノ工場十七、十釜以上五十釜未滿ノ工場一ヲ減少セルニ因ル。

製絲總額ハ六萬二千二百九十貫、價額百九十八萬八千六百八十一圓、内生絲五萬三千四百三十五貫、價額百九十四萬五千五百五十七圓、屑物八千八百五十五貫、價額四萬三千五百二十四圓ニシテ、前年ニ比シ五千七百八十一貫、價額六十四萬七千九百二十二圓ヲ減少セリ。

此等ヲ器械絲、座繰絲及玉絲別ニ觀レバ、器械絲ニ在リテハ製絲場數十九、繰絲釜數千二百五十釜ニシテ、其ノ製絲總額ハ數量四萬七千十六貫、價額百五十八萬二千二百八十二圓ニシテ、前年ニ比シ十釜以上五十釜未滿ノ工場一ヲ減少シ、釜數モ亦總體ニ於テ五十五釜ヲ減少シ、製絲總額モ數量四千三十三貫、價額五十五萬六千四百八十六圓ヲ何レモ減少セリ。

座繰絲ニ在リテハ、製絲場數四百五十四、製絲釜數千四百四十四釜ニシテ、其ノ製絲總額ハ數量一萬五千二百十九貫、價額四十萬六千六百十二圓ニシテ、前年ニ比シ十釜未滿ノ工場十五ヲ減少シ、釜數亦總體ニ於テ三百一釜ヲ減少シ、製絲總額モ數量千六百九十貫、價額九萬十四圓ヲ何レモ減少セリ。

次ニ玉絲ハ製絲場數三、繰絲釜數五ニシテ、其ノ製絲總額ハ數量五十五貫、價額七百八十圓ニシテ、前年ニ比シ二工場六釜ヲ減少シ、製絲總額亦數量五十八貫、價額千四百二十二圓ヲ

減少セリ。

漆器 昭和六年末ニ於ケル漆器製造場數ハ四百一、職工數千十二人ニシテ、前年ニ比シ場數二十一、職工十九人ヲ減少セリ而シテ其ノ産額ハ百四萬四千六百四圓ニシテ、前年ニ比シ十一萬三千二百二十五圓ヲ減少セリ。之ヲ地方別ニ觀レバ、今立郡ノ六十三萬五千九百六十七圓ヲ最多トシ、遠敷郡ノ十六萬三千九百九十圓、福井市十六萬三千六百七十圓之ニ亞ク。尙之ヲ種類別ニスレバ、飲食用器物六十一萬八千六百十三圓、家具裝飾品二十萬七千六百十六圓、其ノ他二十一萬五千三百七十五圓トス。而シテ其ノ大部分ハ、堅牢ヲ以テ起ケル河和田塗ト堅牢ト特殊技能ヲ以テ著名ナル若狭塗トニシテ、何レモ其ノ名聲世ニ高シ。

酒類 昭和五年酒造年度ニ於ケル酒釀場數百六十五、職工千二十四人ニシテ、前年度ニ比シ酒釀場數ニ於テ減少セルモ、職工數ニ於テハ七人ヲ増加セリ。

酒造總價額ハ三百五十一萬九百七十七圓ニシテ、前年ニ比シ三十四萬九千三百三十二圓ヲ減少セリ。而シテ近時其ノ製品ノ品位向上ノ爲メ、杜氏ノ技能養成ト酒造米ノ撰擇トニ努メタル結果、先進地ヲ凌駕シ得ルノ優良酒ヲ吟醸スルニ至レリ種類別ニ之ヲ示セバ次ノ如シ。

	數量	價額
清 酒	49,720石	3,287,307円
白 酒	286	33,150
味 淋	343	51,934
燒 酎	139	17,120
酒 粕	347,649石	121,466

紙類 昭和六年末ニ於ケル製紙場數ハ器械漉手、手漉六百八十五ニシテ、前年ニ比シ器械漉一、手漉七十六ヲ減少セリ。而シテ之ガ職工數ハ器械漉五百十三人、手漉千九百六十四人ニシテ、前年ニ比シ器械漉ニ於テ二十一人ヲ増加シタルモ、手漉ニ於テ百八十九人ヲ減少セリ。

製紙總價額ハ二百二十一萬六千九百九十五圓、內器械漉百五十萬九千九百九十三圓(六割八分)、手漉七十萬二千五百二圓(三割二分)ニシテ、之ヲ地方別ニ觀レバ、今立郡ノ九十二萬七千七百三十圓(四割一分)ヲ最高トシ、南條郡ノ八十三萬五千四百五十三圓(三割八分)、敦賀郡ノ二十一萬九千二百二十五圓(一割)、遠敷郡ノ二十萬九千五百六十三圓(九分)之ニ亞ギ、其ノ品種ハ證券紙、鳥ノ子、越前奉書紙、印刷紙、透明紙、包裝用紙、襖張用紙等ニシテ其ノ名噴々タリ。而シテ特産物タル透明紙(セロファン)ハ二十一萬餘圓ヲ算シ、逐年需用ノ増加ト共ニ、生産増加ノ傾向ヲ有ス。

商業及會社等

商事會社 昭和六年末ニ於ケル商事會社ハ三百九十六ニシテ、其ノ公稱資本金及出資額ハ七千六百七十萬三千七百七圓ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ、會社數ニ於テ四ヲ増シタルモ、公稱資本金及出資額ニ於テ六十八萬二千三百七十七圓ヲ減少セリ。而シテ之ヲ組織別ニ觀レバ合名會社五十一、出資額百九萬九千四百三十一圓、合資會社百三十五、出資額二百四十五萬七千六百六

四、株式會社二百十、公稱資本金七千三百十四萬三千五百圓ナリ。

更ニ之ヲ資本金ノ多寡ニ依リ觀察スレバ、五百圓未滿ノモノ二百二十五(資本金三百三十五萬五千三十七圓)五萬圓以上十萬圓未滿ノモノ五十五(資本金二百九十二萬圓)、十萬圓以上五十萬圓未滿ノモノ八十三(資本金千三百二十八萬圓)、五十萬以上百萬圓未滿ノモノ十二(資本金五百七十六萬圓)、百萬圓以上五百萬圓未滿ノモノ十九(資本金三千四百七十七萬圓)、五百萬圓以上ノモノ三(資本金百七十三萬五千五百圓)ニシテ、一會社平均資本金ハ合名會社二萬五千五百五十七圓、合資會社一萬八千二百圓、株式會社三十四萬八千三百二圓ナリ。

尙之ヲ業態別ニ觀察スレバ、商業ニ屬スルモノ最多ニシテ百九十一社ヲ算シ、其ノ資本金ハ三千四百六十五萬六千七百七十一圓ニシテ、其ノ拂込資本金ハ千五百五十七萬二千四百三十圓、積立金ハ五百二萬五千八百七十圓、配當金ハ八十八萬四千四百二十八圓(拂込資本金ニ對シ五分五厘)ナリ。次ハ工業ニ屬スルモノ百三十七社ニシテ、資本金二千九百八十二萬六千五百六十六圓、拂込資本金二千八百八十萬三千四百四十五圓積立金百九十五萬六千二百四十三圓ニシテ、配當金ハ九十八萬五千三百五十五圓(拂込資本金ニ對シ四分五厘)ナリ。

普通銀行 昭和六年末ニ於ケル普通銀行ハ七行ニシテ、其ノ公稱資本金ハ千九百三十六萬五千圓、拂込資本金九百九十六萬五千二百二十五圓ニシテ、前年ニ比シ拂込資本金ニ於テ七十四萬九千五百圓ヲ増加セリ。

年末ニ於ケル積立金ハ四百三十五萬七千六百四圓ニシテ、前年末ニ比シ三十二萬四千百十圓ヲ増加セリ。又昭和六年ニ於ケル純益金ハ九十二萬二千三百三十三圓ニシテ、前年ニ比シ二十八萬百六十三圓ヲ増加シ、拂込資本金ニ對シ九分三厘ニ當ル。又株主配當金ハ六十八萬四千五百二十二圓ニシテ、前

年ニ比シ一萬三千五百五十八圓ヲ増加シ、拂込資本金ニ對シ六分九厘ニ當ル。

年内ニ於ケル現金、預金、貸付金ノ各勘定ノ取扱高ヲ觀ルニ現金勘定ニ在リテハ、入金十四億六千五百七十七萬四千四十一圓ニシテ、前年ニ比シ七千二百九十九萬二千四百四十二圓ヲ減少シ、又出金ハ十四億六千七百一十一萬三千三百七十七圓ニシテ、前年ニ比シ七十九萬九千三百三十二圓ヲ減少セリ。

預金勘定ニ在リテハ、總預リ高二億四千七百六十四萬四千九百七十一圓ニ達シ、年末現在高ハ四千四百三十四萬二千二百二十圓ニシテ、前年ニ比シ總預リ高ニ於テ六千九百三十萬六千二百四十九圓、年末現在ニ於テ千七百萬四千七十一圓ヲ各減少セリ。之ヲ口座別ニ示セバ次ノ如シ

	年内預リ高	年末預金高
當座預金	110,606(千円)	5,258(千円)
特別當座預金	69,371	10,475
定期預金	54,308	27,823
公金預金	9,790	0
其ノ他	3,567	784

貸付金勘定ニ在リテハ、總貸出二億五千二百五十一萬九千四百三十圓ニ達シ、年末現在高ハ四千九百九十九萬六千二百四十七圓ニシテ、前年ニ比シ貸出高ニ於テ千十三萬八千四百四十六圓ヲ減シタルモ、年末現在ニ於テ五百二十二萬三千三百十九圓ヲ増加セリ。之ヲ各口座別ニ示セバ次ノ如シ。

	年内貸出高	年末現在高
證書貸付	2,150(千円)	6,164(千円)
手形貸付	112,187	20,019
當座貸付	119,240	14,662
コールローン	18,941	60